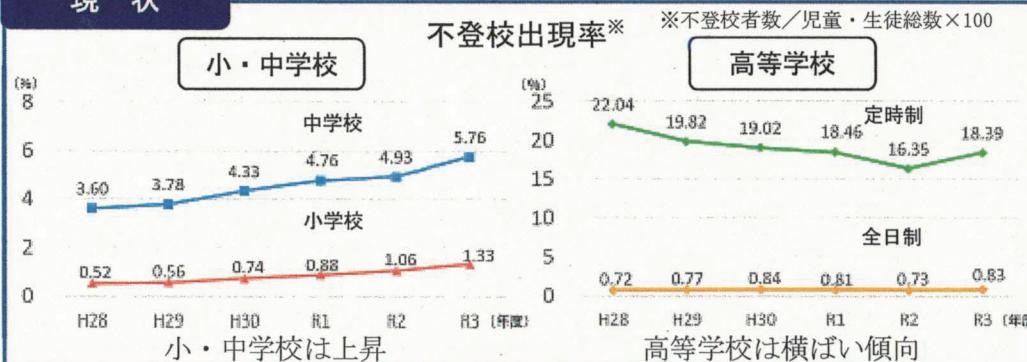


不登校児童・生徒への支援の充実

現 状



これまでの取組

- 不登校児童・生徒への対応を示したガイドブックや校内研修資料を作成し、小・中学校に配布
- 不登校を生まない魅力ある学校づくりのモデル校（中学校）を指定
- 区市町村が設置する教育支援センターの充実を図るため、経費の一部を支援
- フリースクールに通う児童・生徒の支援ニーズを把握するための調査研究の実施
- スクールカウンセラーを全小・中・高等学校（全課程）に配置

不登校児童・生徒一人一人の状況に応じた支援の強化

今後の取組

| | | | |
|---|---|--|---|
| 校内別室指導支援員の配置 【新規】 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 高 | 不登校対応専門教員の配置 【新規】 <input type="radio"/> 中 | 不登校対応事例のデータベース化 【新規】 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 | 人間関係づくりのためのプログラムの実施 【拡充】 <input type="radio"/> 高 |
| <ul style="list-style-type: none"> 校内に居場所を確保し、支援員による相談、学習指導等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校 209 校 チャレンジスクール等の高校 17 校 | <ul style="list-style-type: none"> 不登校対応の核となる教員を新たに配置し、個別学習支援等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 20 校 | <ul style="list-style-type: none"> 不登校児童・生徒の効果的な対応事例をデータベース化することにより、教職員の対応力を向上 <ul style="list-style-type: none"> ・都教育委員会 WEB サイトに掲載 | <ul style="list-style-type: none"> 人間関係づくりを促すグループでの演習を通して、不登校を未然防止 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての定時制課程 希望する全日制課程 |
| スクールソーシャルワーカー等の配置 【拡充】 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 高 | 学校外 体験プログラムの提供 【新規】 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 高 | 学校外 仮想空間による居場所の提供 【拡充】 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 高 | 学校外 フリースクール調査研究の実施 【拡充】 <input type="radio"/> 小 <input type="radio"/> 中 |
| <ul style="list-style-type: none"> SSWの定期的な学校訪問等を通して、教員との連携を強化する区市町村への補助を拡充 専門性の高い YSW を増員し、都立学校への支援を充実 | <ul style="list-style-type: none"> 不登校児童・生徒が参加しやすく効果的な体験活動のプログラムを構築し、社会的自立を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・10 プログラム 計 200 人程度 | <ul style="list-style-type: none"> 仮想空間（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）を活用し、交流や学習の場を提供 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生 順次拡大 高校生 都内 4 か所 | <ul style="list-style-type: none"> フリースクールに通う児童・生徒や保護者のニーズ等を把握するための調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者 1,000 人 ・一人当たり 2 万円/月 × 12 か月 |

児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立できるようにする